

---

# 岐阜県立可児高等学校

学 校 長 水口 猛  
学校住所 岐阜県可児市坂戸987の2 電話 0574-62-1000

---

- 1 会議の名称 岐阜県立可児高等学校 学校評議員会（第1回）
- 2 会議の構成
- |       |       |              |
|-------|-------|--------------|
| 委 員   | 大野 裕司 | (元美濃加茂西中学校長) |
|       | 桂川 直人 | (岐阜県農業大学校長)  |
|       | 松井 慶子 | (元本校PTA役員)   |
|       | 松尾 和樹 | (NPO 縁塾代表)   |
|       | 吉田 亘宏 | (坂戸地区自治会長)   |
| 学 校 側 | 水口 猛  | 校長           |
|       | 川地 晃正 | 教頭           |
|       | 岩田 肇  | 事務長          |
|       | 金本 淳  | 教務主任         |
|       | 小栗 和成 | 生徒指導主事       |
|       | 田内 俊文 | 進路指導主事       |
- 3 会議の目的 学校運営について、保護者や地域住民から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

- 4 会議の開催 令和2年7月 書面による開催

## 5 会議の概要

### (1) 令和2年度可児高等学校の教育方針と指導の重点について

#### ○「Classi」の導入

- 意 見 1 ・オンラインの活用に早くから慣れておくためにも導入したことの意義は大きい。
- 意 見 2 ・社会の変化が速い今の時代には、不断の見直しが欠かせない。新たなチャレンジをされたことは大変素晴らしい。

#### ○心身ともに健康で働きやすい職場環境づくり

- 意 見 1 ・チーム、教科など小グループで互いをカバーできる仕組み作りが重要と考える。
- 意 見 2 ・生徒も先生も笑顔であっていただきたい。勇気をもって簡素化していくことに賛成する。

### (2) 進路指導部の方針について

#### ○LHRの年間計画の組み直しと積極的な情報発信

#### ○WEBによるオープンキャンパスの活用

- 意 見 1 ・今年の三年生には、進路実現への不安が高まっていると思う。情報提供を積極的に行っていただくとともに、生徒から質問が出やすい雰囲気づくりをお願いしたい。

### (3) 生徒指導部の方針について

#### ○教育相談体制

- 意見 1 ・C l a s s i など、オンラインを活用した相談ができるのではないかと。
- 意見 2 ・ゆっくりと急かさない対応や、たくさんの大人の温かい視線が必要だと思う。  
先生方は情報を共有し、息を抜きながら生徒と向き合っていただきたい。

### (4) 新型コロナウイルス感染症の対応について

#### ○休業期間中の学習支援

- 意見 1 ・限られた回線で、やれる限りのことはやっていただいたように思う。

#### ○衛生管理（感染症対策）

- 意見 1 ・家庭内での感染が広がってきており、未発症段階で登校しないという意識付けが重要である。
- 意見 2 ・手洗いの励行、三密回避の呼びかけや換気など、一つ一つの対策を丁寧に行っていくことを繰り返し指導していただきたい。

#### ○その他、本校の新型コロナウイルス感染症対応

- 意見 1 ・高校運動部でのクラスター発生例もあり、注意していただきたい。

### (5) その他

#### ○（1）から（4）以外の御意見・ご提言等

- 意見 1 ・コロナに対応しながら、少しでも前に進められるようご尽力いただいたことに敬意を表したい。
- 意見 2 ・コロナ対応により、各種行事の中止が相次ぎ、人とのふれあいの場や、生徒のストレス発散の場が減ってしまっていることを懸念している。生徒の精神面を一番心配している。できないことが多いが、こまめに声をかけ、想いを伝えて、手段を模索しながら頑張っていただきたいと願う。

## 6 会議のまとめ

新型コロナウイルス感染症の対応で6月まで通常授業がスタートできず、学習の遅れ等が心配されたが、ICTを活用してオンライン授業支援を行ったことに対しては概ね評価いただいた。しかし生徒の精神面での不安について心配される意見もいただいたことから、高いアンテナを張って引き続き生徒の動向に注視し、実情に合わせながら組織で対応できるよう取組・改善を図りたい。